

8月5日 原水禁広島大会 安野フィールドワーク 参加者の感想——アンケートから

《東京都 20代》

詳細な情報を数字などを交えて教えて頂いたことで実感が湧きました。実際に歩いて目で見ることによって発電所の高さや工事の規模を知ることができました。DVD、証言、中電の職員さんや藤井住職のお話しなど、多様な立場の視点から学べたことも貴重な経験でした。

《神奈川県 20代》

そもそも強制労働を知らなかったもので、知れて良かった。

《神奈川県 50代》

何カ所もある中国人強制連行収容所跡をめぐれて少し心がいたいというか、ショックをうけました。死ぬ思いで作った導水トンネルを大切に使い続けて欲しいと思う。

《大阪府枚方市 50代》

ガイドさん、スタッフさん、中国電力の方々の説明が難しくなく、解かりやすかったです。それに実際に現場に足をはこび、ビデオ観賞でより理解が深まったように思います。

《千葉県 60代》

安野発電所の貯水槽は登るのが大変であったが、川原さんの解説と中電の方の説明、さらにずい道出口からの発電所全体の流れが良くわかった。西松建設との和解による碑の建立の経緯もよかった。

中国人強制連行が国と企業による事業であったことが理解できた。今後、日本に暮らす私たちが、歴史から学んだこれらの事実をどのように生かしていくのかが問われていると強く感じた。

とても暑い中、中身の濃い解説をしてくださり感謝の念にたえません。戦争の史実の断片をつなぎ合わせてしっかりと歴史観を持たなければと考えました。今後、市職の中でも本日の事を語りつづけていきたいと思っています。

《福井県 50代》

国のせいにして責任を負おうとしない西松組の姿勢ももちろん問題ですが、今回の参加で、改めて「国策」の意味(=国のあらゆる機関が機能して組織的に行った)を学びました。これに対して謝罪も補償もない日本政府が、西松建設の謝罪や補償によって免罪されている事実疑問を感じます。今の中国になら日本政府の態度も変わるのか?とも思いますが、それこそが私の韓国人の友人が言っていた「まず強い国になることが必要」をなぞることになってしまうと思います。今回、本当に貴重なフィールドワークで人生観が変わるくらい勉強になりました。

《東京都 40代》

個人的にも当時の軍国・帝国主義による他国への加害を新たに学習出来て、とても有意義な時間となりました。今後も広い視野を持ち、被害の歴史・加害の歴史について偏ることなく学んでいきたいと思っています。

《長野県 30代》

日本の戦争というと、原爆や空襲の被害がクローズアップされたり、そのイメージが先行するように感じます。もちろん、それも大切だと思いますが、今回のように、日本が加害になっていることや苦しい思いをさせた側でもあることを忘れてはならないと、改めて感じました。

100年経たない間にあった歴史を変えること、消すことはできないけれど、過去にあったことをなぜ起きたか、なにがあったかを知り、今、そして未来につないでいくことが大切だと思います。

長野には、かなり多くの強制労働中国人がいたことも分かったので、帰ったら、今日のことを周りの人に伝えつつ、身近なところにある歴史にも、もう一度目を向けたいと思います。そして、今日感じたこの気持をずっと忘れず、小学生たちとも一緒に考えたいです。今、私にできることをしながら、平和について考え、行動したいと思っています。